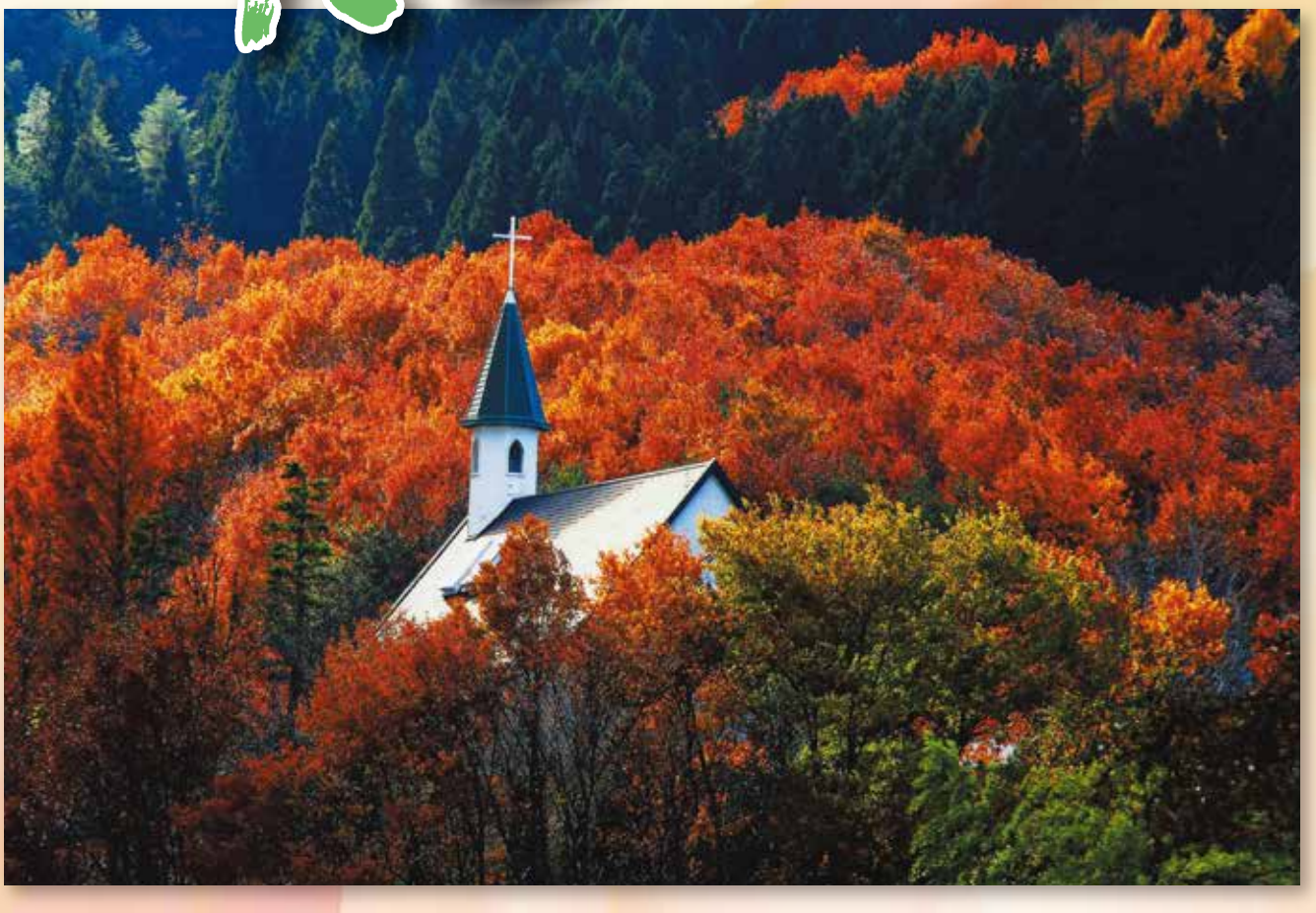
公益社団法人
福島県トラック協会 広報誌

わだち

11 vol.454
2018年



▲ 聖アンナ教会（福島市）

県ト協

創立70周年記念式典を挙行

全ト協

- 高松市で全国事業者大会が開催
- 第50回全国ドライバー・コンテストが開催

県ト協

- 事故防止講習会の日程
- 「トラックの日」フェスタ in 2018を開催
- 平成30年度トラックの森づくり事業を実施
- 第２回広報・IT委員会を開催
- 平成30年度各種助成事業執行状況

適正化

- 平成30年度 物流セミナーを開催

支　部

- 県北支部がソフトボール大会を開催
- いわき支部が労働災害事故防止講習会及び運行管理者一般講習会を開催
- 相双支部が省エネ運転研修会を開催

青年部会

- （公社）全日本トラック協会 青年部会 東北ブロック大会が開催

陸災防

- 全国フォークリフト運転競技大会優勝（厚生労働大臣賞）を報告
- 福島県産業安全衛生大会を開催

お知らせ

- 福島リビング新聞に右近会長が紹介されました
- 平成30年度第２回運行管理者試験のご案内

事故防止講習会の日程

日　程	会　場	住　所
15日㈭	パレスいわや	いわき市鹿島町久保字梅田4－1
16日㈮	ウエディングパーク原町フローラ	南相馬市原町区高見町2丁目30-6
19日㈪	会津方部共同休憩所	会津若松市町北町大字始字見島80－2
20日㈫	白河の関トラックステーション	西白河郡泉崎村大字泉崎字夏針15－1
26日㈪	ビッグパレットふくしま	郡山市南二丁目52番地
28日㈬	福島県トラック協会福島研修センター	福島市飯坂町平野字若狭小屋32

CONTENTS

全　ト　協
高松市で全国事業者大会が開催…… 8
第50回全国ドライバー・コンテストが開催…… 8

県　ト　協
事故防止講習会の日程…… 2
「トラックの日」フェスタ in 2018を開催…… 3
創立70周年記念式典を挙行…… 4
平成30年度トラックの森づくり事業を実施…… 5
第２回広報・IT委員会を開催…… 7
人事異動…… 7
平成30年度各種助成事業執行状況…… 10
11月の行事予定…… 16

適　正　化
平成30年度 物流セミナーを開催…… 6

支　　部
県北支部がソフトボール大会を開催…… 9
いわき支部が労働災害事故防止講習会及び運行管理者一般講習会を開催…… 9
相双支部が省エネ運転研修会を開催…… 9

青年部会
（公社）全日本トラック協会 青年部会 東北ブロック大会が開催…… 8

協同組合
ふくトラネットワーク協同組合　KIT情報…… 16

陸　災　防
全国フォークリフト運転競技大会優勝（厚生労働大臣賞）を報告…… 14
福島県産業安全衛生大会を開催…… 14
技能講習等実施予定…… 14

お知らせ
福島リビング新聞に右近会長が紹介されました…… 5
平成30年度第２回運行管理者試験のご案内…… 11
交通事故統計…… 16

県ト協　「トラックの日」フェスタ in 2018を開催

トラック運送業界の重要性について多くの方に認知してもらうために、10月9日を「トラックの日」と制定し、全国のトラック協会では様々なイベントを実施しているなか、福島県トラック協会最大のイベントである「トラックの日」フェスタ in 2018は9月29日㈯に郡山市「ビッグパレットふくしま 展示ホールC及び屋外展示場」において開催された。

本フェスタは福島県トラック協会の主催事業で、今年は従来から参加していた“青年部会”並びに昨年7月に同協会内に設立された“女性部会”のメンバーで構成する「トラックの日」フェスタ実行委員会が企画から運営までを担当し、この日のために様々な準備を行ってきた。

当日は、台風の影響により集客が懸念されたが、様々な媒体を使用した広報活動が実を結び、多数の家族連れが来場し、模擬店などの各ブースで賑わいをみせるなど、福島県内外より**約3,000人**が来場した。

【小野田弘明フェスタ実行委員長】

【右近八郎会長】

開会式では、右近 八郎 会長が主催者あいさつを行い、「このトラックの日フェスタを通じて、物流におけるトラックの重要性と業界イメージアップの両面を広くアピールしていきたい。」と述べた。

続いて小野田 弘明 フェスタ実行委員長が開催の宣言を行い「トラックの日」フェスタがスタート。オープニングステージとして地元郡山市のプロバスケットチーム「福島ファイヤーボンズ“Ray Glitters（レイグリッターズ）”」のチアリーディングショーを皮切りに様々な出演者がステージを盛り上げた。

今年の「トラック日」フェスタはイベントの幅広い運用を行うため、13の関係団体・機関・企業より「後援・協賛」をいただき、様々な企画展開を可能とした。また、トラック運送業界PRの目玉として、トラックディーラー4社の最新鋭のデモトラックを展示。また、運転者不足の解消に一助となるようハローワーク郡山とも連携し運送業界就職支援相談ブースも設置した。

その他、当協会会員事業者より冷凍車の展示（マイナス25度を体験）、Gマークラッピングトラックの展示、トラック運送業界のパネル展示、交通安全、防災・国防、環境問題対策ブースとして、警察、消防、自衛隊、JAF、NASVAからの協力のもと、各種車両展示及び専門機器の設置、福島県民への地域貢献ブースとして献血活動、ポップコーン、フランクフルト、射的、お絵かきブース、ハンドマッサージの無料提供。さらには震災の復興活動ブースとして浪江やきそばの無料提供。

また、会場内全ブースに募金箱を設置し、交通遺児への募金活動を展開。多くの方から善意を集め、全額を福島県へ寄付する予定となっている。

ステージプログラムでは、福島ファイヤーボンズ“Ray Glitters（レイグリッターズ）”、山木屋太鼓演奏、帝京安積高等学校吹奏楽部の演奏、風船の国のアリスちゃんのバルーンアート、さらには福島県ゆかりの芸人“母心”のお笑いステージもあり、お子様から大人までファミリーで各ステージショーを楽しんだ。

なお、来年の「トラックの日」フェスタ事業も、更に内容を充実させ、同会場で開催する方向で検討を行っている。

県ト協　創立70周年記念式典を挙行

福島県トラック協会は本年に創立70周年を迎え、10月５日㈮、福島市「サンパレス福島」において、記念式典を挙行した。同式典には関係省庁及び東北５県トラック協会関係者のご来賓をはじめ、業界関係者を含む150名が出席。

式典はじめに右近 八郎 会長が「当協会は昭和23年３月に社団法人福島県トラック協会として発足され、当時の会員数26社より日本経済の発展とともに、現在の会員数1,222社（賛助会員含む）の大規模組織へと成長した。物流はサービス業の基幹を担っており、トラック運送事業の重要性はますます高まっているものの、今後は人口減少による人材・労働力不足がますます深刻となる。改善の処方箋としてＩＴをベースとしたＩＴ系技術を導入・活用しながら、次の10年、さらには100年後も日本の流通機能を維持するためにトラック協会と関係監督官庁が一丸となって諸問題に取り組んでいきたい。」とあいさつした。

続いてトラック協会役員功労者９名への表彰式を執り行い、それぞれ感謝状と目録を授与した後、ご来賓の佐々木 雅幸 福島運輸支局長、森戸 和美 福島労働局長、大島 幸一 福島県生活環境部長、阿部 栄 福島県警察本部交通部長、桝野 龍二 全日本トラック協会理事長より祝辞を頂戴した。

式典後には祝賀会も行われ成功裡に式典・祝賀会は終了し、トラック協会関係者は今後のトラック運送業界の飛躍と発展を心に誓った。

【右近会長】

【佐々木支局長】

【森戸労働局長】

【大島生活環境部長】

【阿部県警交通部長】

【桝野理事長】

福島県トラック協会 役員功労受賞者（県ト協理事･監事10年以上）

〔敬称略〕

協会役職	氏　名	事業所名（元職）	協会役職	氏　名	事業所名（元職）
前会長	渡邉　泰夫	會津通運㈱	元監事	安田　幸二	福島運送㈱
前副会長	鎌田　武雄	昭和運輸㈱	現理事	永山　忍	郡山運送㈱
前理事	丹治　吉雄	前専務理事	現理事	大内　芳一	㈱大内運送
前理事	星　平次郎	㈲星運送店	現理事	伊藤　浩一	いわきカーゴ㈱
前理事	金井　一夫	新富運輸㈱			

【受賞者謝辞を述べる　渡邉 泰夫 前会長】

【役員功労受賞者と右近会長】

県ト協　平成30年度トラックの森づくり事業を実施

【子供達と記念植樹する右近会長】

好天に恵まれた10月13日㈯相馬市磯部の大洲地区内にて、右近会長をはじめ各支部から全支部長、会員事業所の会員・家族など97名が参加し800本のクロマツ苗木の植樹活動を実施した。この事業は、東日本大震災からの復興に向けた海岸防災林の再生を図るため、昨年から3年間にわたり0.2haの土地に、延べ2,000本を植樹する計画で今年は2年目となる。

植樹会に引き続き、相馬市伝承鎮魂祈念館の見学会を行った後、松川浦環境公園での右近会長と立谷相馬市長との記念植樹、相馬高校生徒による和太鼓演奏の鑑賞、そしてアサリ飯、ツブ貝・ホタテ焼き串等の美味しい「海の幸」に舌鼓を打つ昼食交流会が行われるなど、植樹会参加者の親睦交流が図られる楽しく有意義な1日となった。

【植樹活動する参加者】

【右近会長と立谷相馬市長による記念植樹】

【交流会では新鮮な海の幸がふるまわれた】

福島リビング新聞社が発行する、リビング福島・郡山に右近会長が紹介されました！

平成30年10月13日号

話題のあの人

Spot Light スポットライト

福島県トラック協会会長
マクサム通運代表取締役社長
マクサムコミュニケーションズ代表取締役社長
マクサムトラスト代表取締役会長

右近八郎さん

昭和28年、北海道に生まれる。昭和54年、早稲田大学大学院 理工学研究科建設工学専攻修了。同年、鹿島建設入社。平成19年、鹿島建設退社。同年、マクサム通運入社、会長就任。平成20年、マクサム通運代表取締役社長就任。同年、マクサムトラスト代表取締役会長就任、平成21年、マクサムコミュニケーションズ代表取締役社長就任。平成29年、福島県トラック協会会長就任

日本経済になくてはならない流通 基幹産業として挑戦を続けます

944社の一般会員、278社の賛助会員、計1222社が加盟する「福島県トラック協会」。昨年6月、11代目の会長に就任したのが、マクサム通運代表取締役社長の右近八郎さんです。「鹿島建設の情報システム部で構造解析の仕事に従事していましたが、54歳で退社。義理の祖父が創業したマクサムグループを引き継ぎました」。

「慢性的なドライバー不足が業界の課題」という右近さん。「法律などの整備が進み、労働時間も改善していますし、フォークリフトの導入などで力仕事も少なくなっています。女性にも働きやすい環境に近づいてきている」と言います。

安全や効率化を図るため、マクサム通運が取り入れたのがGPSを活用した位置の把握や、運行を管理するデジタコグラフの導入。「労働状況の把握や、運転スキルのチェックにも役立っています。今後、運輸業界でもますますIOT化（身の周りのあらゆるモノがインターネットにつながること）が進むはず。業態が不変であるからこそ、常に改革が求められます」。

東日本大震災の際、流通がいかに大切なのかを心に刻んだ方も多いはず。「自然災害が多い日本において、交通の分断は常に考えておかなければなりません。災害などに遭遇した場合、早期復旧をはかるために手段などを取り決めておく、『BCP』（事業継続計画）の準備が必要だと思います」と、業界の今後の課題と取り組みについて教えてくれました。

お酒は飲まず、60歳を過ぎてからの趣味は「スマホ」。「マクサムコミュニケーションズでは携帯電話の販売も行っているので、使いこなさないとね」とほほ笑みます。

10月13日(土)には、「トラックの森」植樹祭を開催。津波で失った松川浦の防災林を再生する活動を行っています。「植林事業を通して、地域環境改善に寄与するために活動。3年をかけてクロマツ林の再生に取り組みます」と右近さん。日本経済の発展になくてはならない基幹産業として、今後も挑戦を続けます。

適正化　平成30年度 物流セミナーを開催

平成30年度物流セミナーは９月28日㈮に郡山市「ホテルハマツ」において開催され、会員事業所、荷主企業など160名が参加した。

はじめに右近 八郎 会長が挨拶し、続いて来賓あいさつとして佐々木 雅幸 福島運輸支局長、安田 幸次 福島労働局労働基準部監督課長より祝辞を頂戴した。セミナーは二部制で、第一部で関係行政からの講演、第二部は経済評論家で大阪経済大学客員教授も務めている、岡田 晃 氏の講演会を実施した。

【右近 八郎 会長】

【佐々木 雅之 福島運輸支局長】

【安田 幸次 福島労働局監督課長】

第一部

東北経済産業局

「中小企業に係る取引の適正化
―下請け代金遅延等防止法について」

【東北産業局産業部　松本 孝 室長補佐】

福島運輸支局

「貨物自動車運送事業の現状と課題」

【福島運輸支局　及川 三千男 首席】

第二部

【岡田 晃 氏】

演題　「明治維新150年」から学ぶ日本経済再生の展望

講師　経済評論家、大阪経済大学客員教授　**岡田 晃** 氏

経済の専門家として、世界経済や日本経済の現状や今後の見通しについて分かりやすい解説で、先の見えない世の中を、生活していくために必要な「明日を生きる経済の知恵が身につく講演」に聴講者も熱心に聞き入っていた。

県ト協 第2回広報・ＩＴ委員会を開催

本年度の第2回広報･IT委員会が、10月19日㈮に委員、オブザーバーの8名が出席し、郡山市の県中研修センターにおいて開催された。

夏坂 佳伸 委員長のあいさつに続き、議事として、「福島県トラック協会イメージキャラクターの選定」や「平成30年度広報･IT各種事業の進捗状況」について、各委員による活発な協議が行われた。

前回の委員会で5つに絞り込んだイメージキャラクターについては、関係機関のアンケート結果も参考に、各委員が検討･協議を進め、候補案の絞り込みを行った。その結果、最終的な候補案については、12月3日開催予定の第3回委員会にて決定される。

会員だより

会員名簿変更

ページ	事業所名	変更事項	新	旧
6	㈱福谷	郵便番号 住所	960-0785 伊達市梁川町字小梁川18―1	960-0711 伊達市梁川町粟野字中通75―5
12	大越運送㈱	代表者 (支店･営業所代表者)	坪井正広	坪井正一
13	㈱クミカ物流東北支店郡山物流センター	事業所名	㈱クミカ物流郡山支店	㈱クミカ物流東北支店郡山物流センター
20	リベルトライン㈱	郵便番号 住所	969-1302 安達郡大玉村玉井字中山28番地	969-1301 安達郡大玉村大山字鳥喰58-1
23	㈱クニヨシ郡山営業所	郵便番号 住所	963-0112 郡山市安積町成田字西田87番2	963-0111 郡山市安積町荒井字丈部内8の2 ドエル遠藤303号室
29	㈲塩田運輸	代表者 (支店･営業所代表者)	塩田弘文	塩田三男
33	東西しらかわ農業協同組合	郵便番号 住所	963-5663 東白川郡棚倉町大字流字中豊88番地	961-0416 白河市表郷村金山字堀越143番地

県ト協 人事異動

次のとおり人事異動がございましたのでお知らせいたします。

発令 10月1日付

役職(旧所属･役職)	氏　名	役職(旧所属)･役職	氏　名
業務部次長(適正化事業部課長)	タカハシ ヨシユキ 高橋　儀行	総務部次長(総務部課長) 福島復興支援輸送協同組合へ出向中	ナマタメ ミノル 生田目　実
適正化事業部課長(適正化事業部係長)	カンノ アキラ 菅野　陽	総務部係長(総務部主任) 福島復興支援輸送協同組合へ出向中	ヘイシ トモユキ 瓶子　知之
総務部係長(総務部主任)	カトウ カズエ 加藤　和江	総務部係長(総務部主任) 福島復興支援輸送協同組合へ出向中	サトウ キヨシ 佐藤　潔志
業務部主任(業務部係員)	スギタ アツミ 杉田　敦美		

発令 10月31日付

退　　職	氏　名
退職(業務部部長代理)	ヤマモト アツシ 山本　淳

発令 11月1日付

新規採用	氏　名
適正化事業部係員	ゴトウ マイ 後藤　麻伊

全ト協　高松市で全国事業者大会が開催

【吉田 雅弘 社長　写真左端】

第23回 全国トラック運送事業者大会は10月10日㈬に香川県高松市「サンポートホール高松」において全国から約1,200名が参加（福島県からは常勤理事を中心に７名参加）し成功裡のうち閉会した。

事業者大会では、昨年改正された改正標準運送約款に基づく運賃・料金の収受に基づくドライバーの長時間労働及びドライバーの待遇改善に向けた「働き方改革」への着手について推進していくことを確認した。大会ではその他に２分科会、記念講演も実施され、それぞれの分科会では、コーディネーター、各ブロックのトラック運送事業者代表によるパネリストを中心としてディスカッションを展開。第２分科会のパネリストには当協会会員事業者の「㈱須賀川東部運送　吉田 雅弘 社長」が参加し、「人材確保対策と働き方改革について」活発かつ有意義なディスカッションを行った。

最後に大会決議を上程し満場一致で採択した後、参加者が一致団結するため“ガンバローコール”を行った。

なお、来年の全国トラック運送事業者大会は千葉県の幕張メッセでの開催が決定している。

分科会

分科会	テーマ
第１分科会	交通事故防止対策と健康管理の推進について
分科会	テーマ
第２分科会	人材確保対策と働き方改革について

記念講演

テーマ　「人を育て、人を活かす人材活用術」
～監督から見た選手起用のいろいろ～

講　師　元プロ野球選手　**中畑　清** 氏
石毛 宏典 氏

青年部会　(公社)全日本トラック協会 青年部会 東北ブロック大会が開催

【大会旗の伝達式】

東北六県トラック協会連合会青年部会（乳井 敏幸 会長）は10月17日㈬に青森県青森市「ホテル青森」にて東北六県を中心に全国から163名が参加（福島県からは17名参加）し、「～変革への挑戦～物流人としての誇りを胸に～」を大会スローガンとして開催した。

東北ブロック大会は、全日本トラック協会が推進する人材育成事業の一環として東北六県持ち回りで実施されている。研修会では、東北六県トラック協会連合会青年部会長並びに来賓出席の青森運輸支局長、青森県トラック協会長、全日本トラック協会経営改善事業部長、全日本トラック協会青年部会長がそれぞれあいさつした。続いて研修会として、「効果的な健康づくりとは」と題した基調講演及び各県対抗の健康実践運動（ワークショップ）実施後、次ブロック大会開催県の香川県に大会旗が伝達された。

全ト協　第50回全国トラックドライバー・コンテストが開催

【競技の様子】

全日本トラック協会主催の第50回全国トラックドライバー・コンテストが10月27日㈯、28日㈰の２日間にわたり、茨城県ひたちなか市「自動車安全運転センター 安全運転中央研修所」において開催された。

大会では、都道府県トラック協会の地区大会を勝ち抜いてきた144名の精鋭ドライバーが参加し、福島県からは、７月の福島県大会を勝ち抜いた４部門（４トン、11トン、トレーラ、女性）の代表が学科競技（法規、構造機能、運転常識）と実科競技（運転技能、点検）の２種目について、プロトラックドライバー日本一を目指し競った。

大会中は悪天候のなか、福島県代表４名は日頃より培った知識と技術を存分に発揮し好成績を残した。

支　部　県北支部がソフトボール大会を開催

県北支部（右近　八郎　支部長）は10月14日㈰に陸災防県北分会と共催で、毎年恒例の「健康増進ソフトボール大会」を開催した。

台風の影響により、９月30日㈰から同日に順延となり５チームが辞退となったが、17チームが参加し熱戦を繰り広げながら会員職員間で親交を図った。優勝はヤマト運輸㈱福島成川支店チーム、準優勝は西濃運輸㈱福島支店チーム、３位は日本郵便㈱福島東郵便局チーム、藤本運輸㈱チームとなった。

支　部　いわき支部が労働災害事故防止講習会及び運行管理者一般講習会を開催

いわき支部（鈴木 健仁 支部長）は10月25日㈭に、「パレスいわや」において、「労働災害事故防止講習会」を開催した。

この講習は全国的に様々なケースの労働災害が多発していること、トラック運送業に係る労働時間の問題がクローズアップされていることを受け、支部の会員事業者を対象に開催したもの。

内容は、いわき労働基準監督署担当官による、「陸上貨物運送事業の安全対策」、「労働時間法制の見直し」について、三井住友海上アドバイザーによる「働き方改革と人事労務の実務に関して」と題した３講演を行い、当日は128事業所138名が参加した。

また、10月26日㈮には いわき方部 共同休憩所 大会議室において、こちらも支部会員を対象に、選任運行管理者に２年ごとの受講が義務付けられている、「運行管理者一般講習会」を６月に続き開催した。

本講習会は一昨年より開催しており、今年度も平中央自動車学校のご協力を得ての開催で、会員事業所からの平日開催の要望を受け、今年度も支部主催事業として実施の運びとなった。

当日は83名が参加し、運行管理者としての必要な知識の習得を行った。なお、同講習会は来年の１月29日㈫にも開催が決まっている。

支　部　相双支部が省エネ運転研修会を開催

相双支部（佐藤 信成 支部長）は10月27日㈯に相馬方部共同休憩所駐車場において、省エネ運転研修会を開催し会員事業所からは10事業所13名が参加した。

いすゞ東北㈱福島支社のご協力により、燃料効率を高める６つのポイントを座学での説明を受けたのち、指導員添乗による実技指導を受けた。なお、本研修会受講者には運転実技講習終了証が発行された。

県ト協　平成30年度各種助成事業執行状況

平成30年度の各種助成事業の平成30年10月22日現在の執行状況は下表のとおりとなっています

助成事業によっては、助成金申請書の提出期限前であっても、予算額に達した場合は申請しても助成されませんので十分注意してください。

また、「執行状況」については、本表作成時点後の申請状況により変わりますので、助成事業の利用を予定している方は、早めの申請をされるようにしてください。

平成30年10月22日現在

区分	助成事業名	制度の概要	助成額等	限度額	執行状況(%)
交通安全対策事業費	1　適性診断	運転者適性診断(一般･初任･適齢)の受診料の助成	一般診断　2,300円/人 初任診断　2,000円/人 適齢診断　2,000円/人	一人年1回	63
	2　睡眠時無呼吸症候群検査(SAS)	睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査に要する経費(第一次検査、第二次検査、再検査)の助成	5,000円/人	一人年1回 1会員50人まで	49
	3　脳ドック受診	運転手の健康管理のため、脳ドック受診に対する助成	10,000円/人	1会員5名まで	35
	4　ドライバー研修	安全運転研修施設にドライバー等を派遣訓練経費(受講料)に対する助成	全ト協主催の一般研修　10,000円/人(上限) 全ト協主催の特別研修 Gマーク取得事業所　全額 その他　7割	1会員5名まで	46
	5　EMS	EMS機器の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限40,000円)	1会員15台上限	37
	6　ドライブレコーダー	ドライブレコーダーの導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2 運行管理連携　40,000円　(20,000円) 標準型　20,000円 簡易型　10,000円 ※(　)書きの金額は国の補助金を受けた場合	1会員15台上限	29
	7　安全装置	後方視野確認支援装置、側方視野確認支援装置、呼気吹込み式アルコールインターロック、IT点呼に使用する携帯型アルコール検知器の導入に要した経費に対する助成	27,000円/台	1会員15台上限	44
	8　フォークリフト技能講習受講料	陸災防の行うフォークリフト運転技能講習の受講経費	4,000円/人		41
	9　衝突被害軽減ブレーキ装着車	中型車を対象に、衝突被害軽減ブレーキ装着車の導入に要した経費に対する助成	100,000円/台	1会員3台上限	52
	10　中型･大型免許助成	従業員に準中型免許、中型免許、大型免許、けん引免許を指定教習所で取得させた費用に対する助成	準中型免許　40,000円/人上限 中型免許(二種は除く)　50,000円/人上限 大型免許(二種は除く)　100,000円/人上限 けん引免許　50,000円/人上限 中型限定解除　30,000円/人上限 準中型限定解除　20,000円/人上限	1会員50万円上限	47
	11　定期健康診断	運転手の健康診断に対する助成	1,000円/人･年(上限)	車両台数上限	34
	12　SDカード	運転手のSDカード取得に対する助成	630円/人･年(上限)	車両台数上限	57
	13　血圧計	血圧計の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限50,000円)	1事業所1台	84
	14　女性用休憩施設等整備	女性従業員用の休憩室、更衣室、トイレ等の増改築の費用の一部に対する助成	工事費の1/2または30万円にいずれか低い額		42
交通公害対策費	15　アイドリングストップ支援機器	アイドリングストップ支援機器の導入に要した経費に対する助成	電気式の毛布･マット･ベッド　15,000円/枚 エア･温水式ヒーター　60,000円/基 蓄冷式クーラー(リヤ･三菱)　50,000円/基 蓄冷式クーラー(ベッドルームクーラー･デンソー、UD)　50,000円/基 車載バッテリー式冷房装置　60,000円/基 ジェルマット　9,000円/枚	電気式の毛布･マット･ベッド　30枚 エア･温水式ヒーター　3基 蓄冷式クーラー･車載バッテリー式冷房装置 3基 ジェルマット　30枚	24
	16　ポスト新長期	ポスト新長期規制適合車を導入した経費	小型　新車　15,000円 中型　新車　30,000円 大型　新車　50,000円 ※CNG、ハイブリッドトラックについては要綱を参照のこと	15台	32
	17　エコタイヤ	エコタイヤ(転がり抵抗5%以上低減)を導入装着に要した経費	1,500円/本 車両数×1/3 (四捨五入)×10本上限	150本	23
研修･調査事業費	18　中小企業大学校	中小企業大学校の対象講座の受講料を受講した場合	受講料の2/3相当額		45
	19　グリーン経営認証	グリーン経営認証を取得又は更新した際の費用の一部を助成	新規取得　100,000円 更新　50,000円	1事業者1回/年 (支店、営業所の数にかかわらず年度内で1事業者につき取得･更新のどちらか1回)	17
	20　経営診断	経営診断に要した経費の一部に対する助成	経営診断費用の1/2　80,000円限度 (Gマーク取得者は　100,000円限度)		0
基金運営事業費	21　近代化基金利子補給	物流施設整備資金、車両(ポスト新長期含)、省エネ機器等購入に要する資金借入に対する利子補給	近代化基金融資　利率　0.3% ポスト新長期車　〃　0.3% 低公害車･省エネ関連機器　〃　0.3%	近代化基金 1会員 3千5百万 ポスト新長期 1会員 7千万 低公害車等 1会員 3千5百万	65
	22　信用保証料	信用保証協会の一般保証料に対する助成	信用保証料の額が 50,000円まで　全額 50,000円～ 50,000円に50,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限 年度内　100,000円	29
	23　緊急制度資金信用保証	県制度資金等の保証料に対する助成	信用保証料の額が 100,000円まで　全額 100,000円～ 100,000円に100,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限 年度内　200,000円	38
	24　緊急制度資金利子助成	県ト協の保証料助成を受けたものに対する借入利子の助成	支払利子利率の0.8%(3年間)		38
事業適正化費	25　運行管理者講習	運行管理者講習(一般、基礎)の受講料の一部に対する助成	一般講習　1,000円/人･年 基礎講習　4,000円/人･年	一般講習は選任管理者のみ 基礎講習は車両台数の10%を上限(端数切上げ)	36

注1)「制度の概要」は、助成制度の概略を記載したもので、詳細は助成要領等で確認してください。
注2)本表は、会員を対象としたもので、Gマーク取得の非会員に対する助成措置は省略してあります。
注3)「執行状況」は、予算額に対する執行率を「%」で表示します。概ね90%を超えたときは「締切間近」と、また、予算額に達した場合は「終了」と表示します。

平成30年度第2回運行管理者試験のご案内

●試験日時、会場、受験申請書の頒布（販売）、申請期間等

(1)　試験日時：平成31年３月３日㈰　13時15分～14時45分（90分）
(2)　試験会場：郡山市「日本大学　工学部」（予定）
(3)　申請書の頒布（書面申請）期間
①書面申請書による申請：平成30年11月９日㈮～11月30日㈮
※平成30年11月30日㈮当日の消印有効（締切日を過ぎたものは受理されません）
福島県トラック協会（本部）にて上記期間内で申請書を販売いたします。
②インターネットによる申請：平成30年11月９日㈮～12月11日㈫
(4)　試験結果発表日：平成31年４月２日㈫（予定）

●書面申請

(1)　受験申請書：１部　1,030円（税込）
(2)　受験手数料
①採点結果通知書を希望される方は6,216円
②採点結果通知書を希望されない方は6,000円

●インターネット申請（携帯電話、スマートフォンからの申し込みはできません）

(1)　申込方法：（公財）運行管理者試験センターホームページにアクセスして申込手順に従って必要事項を記入してください。（http://www.unkan.or.jp/）
①個人による電子申請
インターネットシステムの環境が整うパソコンから試験センター、ホームページのサイトにアクセスして電子申請の申込みを行って下さい。
②団体による電子申請
各企業において一括で取りまとめて申し込みを行う「団体申請」は、本社だけでなく、支社、支店又は営業所など内部機関ごとに電子申請の申し込みを行うことができます。なお、あらかじめ、団体情報の登録が必要となります。
(2)　申込期間：平成30年11月９日㈮　９時～12月11日㈫19時59分（厳守）まで
(3)　受験手数料及びシステム利用料
①受 験 手 数 料：6,000円（非課税）
②システム利用料：　648円（税込）
(4)　注意事項：インターネット申請の申込み後、平成31年１月９日㈬23時59分（厳守）までに受験手数料の支払いを行わないとインターネット申請が取消しとなります。

●時間がない方は「おまかせ申請サービス」があります。（詳細は12、13ページでご確認ください）

また、平成27年度第1回運行管理者試験以降に受験履歴があり、氏名に変更がない方であれば、スマホ再受験申請が可能です。（詳細は運行管理者試験センターホームページ等でご確認ください。）

●受験申請手続きの詳細は、試験案内書及び運行管理者試験センターのホームページを参照して下さい。

（公財）運行管理者試験センター　試験事務センター

自動音声サービス：TEL　０４－７１７０－７０７７（平日 9時～17時はオペレーター対応有）
ホームページ：http://www.unkan.or.jp/　　携帯電話版：http://www.unkan.or.jp/mobile/

※１．トラック協会各支部では受験申請書を取扱いしておりません。⇒問合せはTel：024-558-7755まで
※２．受験申請書の郵送販売制度は廃止となりましたのでご注意ください。

運行管理者試験の申請サービスのお知らせ

パソコンなしでもOK

時間がない方にオススメ『おまかせ申請サービス』

おまかせ申請サービスとは･･･

早い長い

● 書面申請の受付開始よりも10日早く、しかも、締切日より約１週間長く受験申請ができます。

安心

● あなたはデスクにおまかせ申請書等を郵送するだけ
あとは私どもが電子申請手続きを行います。

便利

● 申請費用の支払いは、ご希望のコンビニでできます。
(申請費用の内訳は、裏面を参照)

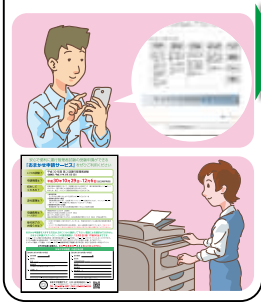
支払はコンビニでOK

申請期間　平成30年10月29日(月)～12月6日(木)(当日消印有効)

おまかせ申請サービスの流れ

申請書の入手

・スマートフォン、パソコンから試験センター・ホームページの「おまかせ申請の資料請求サイト」にアクセスし、依頼するか、
・おまかせ申請デスクに裏面を参照してFAXで送付依頼をして下さい。
・なお、最寄りのトラック、バス、ハイタク協会でも入手できます。



申請書を郵送

次の書類を同封して下さい。
・証明用写真
・受験者を証明する書面
・受験資格を証明する書面

申請の受付完了と入金案内等の発送

おまかせ申請デスクは、送付された申請書により、手続きを行います。

コンビニで受験料等の支払い

受験手数料等の入金案内通知書の指示に従い、受験料等をコンビニで支払ってください。

次ページも見てね

安心で便利に運行管理者試験の受験申請ができる『おまかせ申請サービス』をぜひご利用ください

いつの試験？	平成 30 年度 第 2 回運行管理者試験 **(試験日：平成 31 年 3 月 3 日 (日))**
申請期間は？	**平成 30 年 10 月 29 日～12 月 6 日**(当日消印有効)
何をしてくれるの？	試験申請受付期間内において、申請書をおまかせ申請デスク（運行管理者試験センター内）に送付すると、電子申請による試験申請の申込みを行います。 あなたは、後日、コンビニで受験手数料等を払い込むだけです。
添付書類は？	**①証明用写真** 6 ヵ月以内に撮影されたもので白黒又はカラーのどちらか 1 枚 **②受験者を証明する書面** 自動車運転免許証 (写)、住民票 (写) (マイナンバーの記載がないもの)、マイナンバーカード (写) (マイナンバーの記載がない表面のみ) のどれか 1 つを提出 **③受験資格を証明する書面** 基礎講習修了証 (写) 等又は実務経験証明書 (1 年以上の実務の経験)
申請費用は？(一人当り)	●受験手数料 6,000 円（非課税） ●おまかせ申請に係る費用 2,000 円（税込） ●システム利用料 648 円（税込） ●採点結果通知を希望される方は、採点結果通知手数料 216 円（税込）が別途必要です。
受付完了のお知らせは？	・「おまかせ申請書」の受付を完了したときには、申請の受付完了と入金案内等の通知書を郵送します。 ・コンビニでの受験手数料等の支払期間は、支払い通知書に記載されています。平成 31 年 1 月 8 日(火)午後 11 時 59 分(厳守)までにお支払い頂けない場合、受験することができません。

おまかせ申請書を入手する方法は、次の３つから選択して下さい。電話による請求はできません。
おまかせ申請デスクへの①～③の請求期限は、12 月3 日 (月) 17 時 00 分までです。

①スマートフォン等からの申込方法：運行管理者試験センターで検索し、ホームページからサイトに入ることができます。
②ＦＡＸ送信による申込み方法：下記の送付申込書（自宅か会社のいずれかを選択し記載）をご送付下さい。
③トラック協会、バス協会、ハイヤー・タクシー協会等の窓口で直接入手する方法：事前に各協会等へお問合せ下さい。

以下の申込書に記載の上、０３－６８０３－４３２８ に FAX して下さい。

「おまかせ申請書」の送付申込書

【自宅宛に送付を希望する場合】

1．送付部数 ＿＿＿＿＿＿ 部
2．送付先
氏名 (フリガナ) ＿＿＿＿＿＿
電話番号 ＿＿＿＿＿＿
(日中連絡が可能な電話番号を記載して下さい。)
3．ご住所　〒 ＿＿＿＿＿＿
※マンション名、アパート等の名称及び部屋番号まで記載して下さい。

【会社宛に送付を希望する場合】

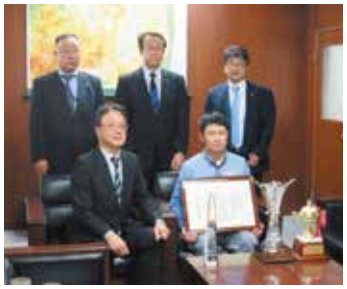
1．送付部数 ＿＿＿＿＿＿ 部
2．送付先
ご担当者の氏名 (フリガナ) ＿＿＿＿＿＿
会社名 ＿＿＿＿＿＿
電話番号 ＿＿＿＿＿＿
3．会社住所　〒 ＿＿＿＿＿＿
※ビル名等の名称、階数まで記載して下さい。

おまかせ申請依頼先

おまかせ申請デスク　((公財) 運行管理者試験センター内)
〒 105-0012　東京都港区芝大門 1 丁目 16 番地 3 号 芝大門 116 ビル 7F
TEL：03-6803-4327　FAX：03-6803-4328
ホームページ：http://www.unkan.or.jp/

陸災防　全国フォークリフト運転競技大会優勝(厚生労働大臣賞)を報告

９月23日㈰愛知県で行われた“全国フォークリフト運転競技大会”で優勝を果たした大沼 亨さん（日本通運㈱郡山支店福島ロジスティクス事業所）は、10月５日㈮福島労働局を訪問し、森戸 和美 局長に優勝（厚生労働大臣賞）を報告した。大沼さんは、「優勝できたのは、会社や同僚、そして家族が練習できる環境を整えてくれたおかげ」と感謝を述べ、今後は「職場における労災ゼロを目指し、職場で安全意識を広めていきたい」と抱負を述べた。日本通運㈱の夏坂 佳伸 支店長、右近支部長、五十嵐事務局長が一緒に訪れた。



【前列右から大沼さん、森戸局長
後列右から五十嵐事務局長、
右近支部長、夏坂支店長】

陸災防　福島県産業安全衛生大会を開催

【佐竹会長・尾越社長】

平成30年度福島県産業安全衛生大会は、福島県労働基準協会主催、陸災防福島県支部共催で10月４日㈭福島市の「とうほう・みんなの文化センター」において、県内から県支部会員事業場を含む約550名が参加して開催された。

大会は第１部において、主催者　唐橋　幸市郎　福島県労働基準協会会長が「大会が、今後の皆様の事業場における労働災害防止の取り組みのひとつのきっかけになって頂ければ」と、又、森戸　和美　福島労働局長は「だれもが生きがいをもって、安心して働ける職場、魅力ある職場を作って欲しい」と挨拶があった。引き続き、産業安全及び労働衛生に努力されその功績が顕著と認められた方々が表彰され、当県支部会員事業場より５名が受賞した。

第２部では、富士通アイソテック㈱　事業管理部総務課長　亀井 亜紀子 氏による「当社の健康づくりの取り組みについてと題して好事例発表があり、特別講演として、落語家 林家 三平 氏により、特別講演「笑いと健康と題し行われた。

福島県労働基準協会長賞　産業安全功労者

佐竹 弘一 様【佐竹運輸株式会社　代表取締役会長】

橋本　　巖 様【郡山運送株式会社　取締役業務部長】

福島県労働基準協会長賞　労働衛生功労者

尾越 建一 様【株式会社帝北ロジスティックス　代表取締役社長】

高橋 忠信 様【日本通運株式会社原町支店　支店長】

佐藤 一正 様【ALSOK福島株式会社　取締役管理担当兼総務部長】

陸災防　技能講習等実施予定

【フォークリフト運転技能講習】

開催地		講習開催日		
		学科	実技	
郡山⑨	12月	13(木)	1：4(火)～6(木)	2：10(月)～12(水)
いわき⑨		18(火)	1：4(火)～6(木)	2：11(火)～13(木)

※ 講習に関する詳細はホームページでご確認ください。　Http://www.f-rikusai.org/　陸災防 福島県支部　検索

2018年10月1日 施行

点検基準が改正されました。

スペアタイヤの点検、ツールボックスの点検が、3か月毎の定期点検に、義務付けされます。

〔対象〕車両総重量８トン以上のトラック（トレーラ）と乗車定員30名以上のバス

（追加された）点検項目と実施方法

点検の結果は、必ず記録簿に記入します。

スペアタイヤ

＝フレームやボディーなど、車外に取り付けられているスペアタイヤ

1 スペアタイヤ取付装置の緩み、がた及び損傷

○スペアタイヤを取り外し、次の点検を行います。

- スペアタイヤ取付装置の取付部に緩みがないかをスパナなどにより点検します。また、損傷がないかを目視などにより点検します。
- スペアタイヤ取付装置に緩みがないかをスパナなどにより点検します。また、がたがないかを手で揺するなどして点検します。さらに、損傷がないかを目視などにより点検します。
- スペアタイヤのディスク・ホイールについて、ボルト穴や飾り穴の周り及び溶接部に亀裂及び損傷がないかを目視などにより点検します。また、スペアタイヤ取付装置とディスク・ホイール合わせ面に摩耗や損傷がないかを目視などにより点検します。

2 スペアタイヤの取付状態

○スペアタイヤを取り付ける際に次の点検を行います。

- スペアタイヤ取付装置のハンドルが円滑に回ること及び吊上チェーンにねじれやひっかかりがないことを確認し、規定トルクで締め付けます。
- スペアタイヤを取り付けた後、スペアタイヤに異常な傾きがないかを目視などにより点検します。また、スペアタイヤの取付けに緩みがないかをスペアタイヤを強く押すなどして点検します。

ツールボックス

＝フレームやボディーなど、車外に取り付けられた工具箱や資材入れ等

3 ツールボックスの取付部の緩み及び損傷

○ツールボックスの取付部に緩みがないかをスパナなどにより点検します。また、損傷がないかを目視などにより点検します。

いすゞ自動車㈱/日野自動車㈱/三菱ふそうトラック・バス㈱/UDトラックス㈱

11月の行事予定

日　程	行　事　内　容	開　催　場　所
1日(木)	平成30年関係功労者等表彰式(東北運輸局長、福島運輸支局長表彰)	福島市「ホテル福島グリーンパレス」
12日(月)	整備管理者選任前研修	郡山市「県中研修センター」
14日(水)	第2回交付金運営委員会	郡山市「県中研修センター」
	女性部会東北ブロック研修会	仙台市「仙台ガーデンパレス」
17日(土)	第4回理事会	郡山市「ホテルハマツ」
	政治連盟パーティー	
28日(水)	人材確保セミナー	郡山市「県中研修センター」
30日(金)	第4回広報・ＩＴ委員会	郡山市「県中研修センター」

協同組合　平成30年度ふくトラネットワーク協同組合　KIT情報

「Web KIT」荷物（求車）・車両（求荷）の情報登録・成約件数　　※上記表にはKIT外成立は含みません

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計	前年同期合計	増　減
荷物(求車)登録件数	398 件	273件	268件	409件	427件	462件							2,237件	1.952件	+285件
荷物(求車)成約件数	147件	102件	98件	117件	136件	142件							742件	593件	+149件
成約率	36.9%	37.4%	36.6%	28.6%	31.9%	30.7%							33.2%	30.4%	2.8ポイント
車両(求荷)登録件数	241件	243件	271件	294件	281件	260件							1,590件	1,405件	+185件
車両(求荷)成約件数	156件	173件	202件	241件	241件	208件							1,221件	954件	+267件
成約率	64.7%	71.2%	74.5%	82.0%	85.8%	80.0%							76.8%	67.9%	8.9ポイント

お知らせ　交通事故統計

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は平成29年に比べ平成30年では発生件数(－18)、死者数(－2)、傷者数(－16)となっている。**交通規則を守ることは、社会人としての基本的な責務です。会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。**

交通ルールの遵守、思いやり運転等交通マナーアップ　交差点での安全確認の励行　速度の抑制

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況（９月末）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	平成27年に比べての増減数	10月	11月	12月	年間合計
29年(概数)	発生件数	8	114	13	10	7	3	12	11	7	85		8	7	2	102
	死 者 数								1	1	2			1	1	4
	傷 者 数	9	19	18	11	8	5	13	12	8	103		9	6	2	120
30年(概数)	発生件数	5	9	11	5	8	3	8	11	7	67	－18				
	死 者 数											－2				
	傷 者 数	5	11	17	6	10	3	10	18	7	87	－16				

トラック広報　わだち11月号（通巻454号）
平成30年11月１日発行（毎月１回１日）
編集発行　公益社団法人福島県トラック協会
〒960-0231　福島市飯坂町平野字若狭小屋32
TEL 024-558-7755㈹　FAX 024-558-7731
H.P http://fukutora.lat37n.com/